

＜香川県内の経済動向＞（2019年7月作成分）

現在の景気：緩やかな回復基調が続いている。

3か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

個人消費：着実に持ち直している。

- ◆ 5月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比+1.2%と2か月ぶりに増加。店調後は前年比▲1.0%と11か月連続で減少。
- ◆ 5月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比+3.6%と7か月連続で増加。
- ◆ 5月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）+5.9%と2か月ぶりに増加、ドラッグストアが同+8.9%と2か月ぶりに増加、ホームセンターが同+3.4%と6か月ぶりに増加し、全体では同+6.5%と2か月ぶりに増加。
- ◆ 5月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比+8.5%、小型乗用車で同+3.4%、軽乗用車で同+7.8%と増加し、全体では前年比+6.8%と2か月連続で増加。

住宅建築：下げ止まっている。

- ◆ 5月の住宅着工戸数は、持家で前年比横ばいとなったが、貸家で同▲6.8%、分譲住宅で同▲44.1%となり、全体では前年比▲6.3%と4か月ぶりに減少。

設備投資：高水準となっている。

- ◆ 「全国企業短期経済観測調査結果（2019年6月）-香川県-」をみると、2019年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、製造業で前年度比+1.2%、非製造業で同+75.6%、全産業では同22.0%増加の見込み。

公共工事：下げ止まっている。

- ◆ 5月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比▲79.2%、県で同▲57.7%、市町で同▲28.2%となり、全体では同▲60.8%と2か月連続で減少。

輸出：減少している。

- ◆ 5月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶が前年比+127.7%となったことから、全体では前年比+21.6%と2か月連続で増加。

生産活動：振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。

- ◆ 4月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比8.1%減少し、97.8と2カ月ぶりに低下。
- ◆ 輸送機械工業（鋼船）、電気機械工業（開閉制御装置）などで低下。
- ◆ パルプ・紙・紙加工品工業（乳幼児用紙おむつ）、汎用・生産用機械工業（金型・建設用クレーン）などで上昇。

観光：好調に推移。

- ◆ 5月の主要観光地（ニューレオマワールド含む）の入込客数は、前年比+29.2%と2カ月連続で増加。
- ◆ 1～5月の累計では前年比13.1%増加。

雇用情勢：好調に推移。

- ◆ 5月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.01ポイント上昇の1.84倍。
- ◆ 新規求人数（原数値）は、生活関連サービス業・娯楽業、医療・福祉等で増加し、建設業、製造業等で減少となり、全体で前年比1.3%減と6カ月連続で減少。